

問 本市の現状に合わせた産科分娩機能における今後の具体的なビジョンは。新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期の家庭に対し、切れ目のない包括的な支援を強化していく。

答 既存の保育園等において、質の高い保育サービスの提供を優先していきたいと考えている。なお、小規模保育事業の受け入れ対象が令和5年度から緩和され、和5年度から緩和され、相談に応じて適切に対応していきたい。

問 令和6年度以降も大湯地区に保育所を存続して欲しいという声が多くある。小規模認可保育園の規定が拡充する今、大湯地区の未来を守るためにも小規模保育園として運営すべきと思うが、今後の考えは。

答 改修費用が当初の想定より大きく膨らむことと、施設の休業期間も工事に応じ長期間となることから増床計画を凍結したもので、現段階での再開は考えていない。令和6年度は十和田湖観光の進展が期待され、イベント・外販プロデュース・物販などにより外貨獲得・入込客数の増加を目指していく。

問 出産・子育てを支える環境づくりについて

問 凍結していた湯の駅おおゆ飲食スペースの見直し計画を早期に進める必要があると考えるが、市の見解は。



観光資源について

和5年度から緩和され、相談に応じて適切に対応していきたい。

質問した項目

- 出産・子育てを支える環境づくりについて
- ゼロカーボンシティについて
- 観光資源について

問 本市の現状に合わせた産科分娩機能における今後の具体的なビジョンは。新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期の家庭に対し、切れ目のない包括的な支援を強化していく。



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）
質問時間 30分

委員会審査ズームアップ

〔議案第4号〕 鹿角市過疎地域持続的発展計画の変更について

問 どのような事業を見込んで計画を変更したのか。

答 大湯地区と八幡平地区にある市所有施設に、地上デジタル放送の電波を光回線に変換する受信点があるが、令和6年度は大湯地区の受信点を更新する計画としている。市交流センターについては、外壁の補修や講堂の床の張り替えなど、計画的に修繕を行う予定としていたが、修繕箇所が多くなってきたことから大規模改修を行う計画に変更した。

〔議案第15号〕 鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の一部改正について

問 消防団員の定員を引き下げることにした理由は。

答 国の消防力の整備指針では、団員数は地域の実情に応じて必要な人数とされているが、鹿角市もこの考え方に基づいて見直しを進めている。団員数については、参考値ではあるが、ポンプ車や積載車等の資機材の数に対する必要な団員数に、平成17年当時の指針で定められていた大規模災害時の避難誘導に必要な団員数を加えると約740人となるが、今回改正する定員数は820人であり、必要な定員数は確保されている。

〔議案第17号〕 令和5年度鹿角市一般会計補正予算（第13号）

問 （情報管理費）行政手続等デジタル推進事業について、補正予算の内容と市行政事務のデジタル化の進捗状況はどうなっているか。

答 システム使用料の減額については、文書管理システム・電子決裁システムの運用開始時期に応じた減額である。また、デジタル化の進捗状況については、行政手続きのデジタル化を指標に掲げ、令和7年度までの目標件数を80件としているが、令和4年度の実績で59件の手続きをデジタル化している。